

えんぽとたんぽの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報 第 161 号	2014年12月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠
---------------------------	-------------	---

1. 活動報告（事務局 記）

ー12月5日（金）13時より餅つきの準備として、テント設置、テーブル準備、会議室のテーブル設置、もち米の洗米を行いました。ご多忙の中12名の参加を得ました。

ー12月6日（土） 稲作体験最後のイベント収穫祭が盛大に举行されました。

久保田市長をはじめ宇部市環境部の部長・課長・他たくさんの来賓をお招きして盛大に収穫祭（餅つき）が終わりました。総勢100名を超える参加者は会員23名・親子自然観察隊13名・二俣瀬子ども会30名・山大工学部21名（インドネシア・マレーシア・アメリカ・韓国留学生含む）・厚東中学校12名・二俣瀬市民センター・公民館4名でした。

餅つきを通じて市長との交流や子供から中学校生徒や大学生そして大人との交流が、また外国人とのコミュニケーションも出来ました。

11時30分から親子自然観察隊の解散式も行われ26年度の活動も終ることになりました。

ー12月20日（土）午前中雨の為、本格的ハス堀を中止して「親子自然観察隊」の今後の対応について協議しました。引き続いて懇親会に移り近くで獲れたイノシシ肉で焼肉パーティを盛大に行い今年の労をねぎらい合いました。会員19名で収穫祭について多数の参加でした。

会計報告

毎年年末懇親会はつくる会の会計とは切り離して行っています。会員参加者19名より会費としての収入19,000円頂きました。支出は保存領収書では14,693円ですが残り4,307円はシシ肉や野菜を提供して頂いた方に謝礼として使わせて頂き会計報告とします。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

◎行 事

ー1月10日（土）初集会（27年度の打ち合わせ）

ー1月17日（土）維持活動（エコアップ、修復作業）

3. 来訪者の声

今月はありません。

4. 会員の声【 エコアップに思う事 】 （前田 歳朗 記）

20日の参集日（年末懇親会）は、雨の中での開催となりましたが無事終わり、2014年の行事も全て終了しました。今年を振り返ると私にとっての最大の出来事は、稲刈りの日にカヤネズミの赤ちゃんが見つかったことでしょうか。残念ながら、事前に巣を見つけられなかったことが惜しまれます。

此処のビオトープでは、カヤネズミの巣の殆どが湿地帯で見られます。田圃の中にカヤネズミの巣が見つかったのは、今年が初めてです。気になって先月の中頃、湿地帯で巣の数を調べると12個の巣がありました。実際にはもっと多くの巣があると思います。湿地帯が住宅難になって、田圃に進出したのであれば嬉しいのですが。

ビオトープのカヤネズミについては、以前から巣が見つかったのですが、実態は不明です。来年は、実態を調査し始めようかと考えています。ネットで調べた調査方法（日本自然保護協会）にしたがい、時期は6月と11月、ビオトープ内を植生により区域分けをし、巣の有無、巣の種類（子育て用 or 休憩用）、密度等を明らかにしたいと思っています。その際、子育ての様子が見られると良いのですが。

ビオトープには、カヤネズミに限らず、多くの動物が生息しています。エコアップをしていると感覚的な状況は分かります。しかし、具体的な状況が分かりません。見学者の方に質問されて、困ることもありました。タニシの分布状況、春に産まれた赤ガエルの産卵箇所数、一年間に産まれるウシガエルの産卵箇所数、メダカの生息状況、水生昆虫の生息状況等々。来年は、もう少し勉強、調査に励み、その成果がビオトープに役立てることができればと考えています。

5. 親子自然観察隊 （収穫祭：餅つき、解隊式） （管 哲郎 記）

毎年、この日は寒い日となりますが、今年もなぜか小雪交じりの寒い日となりました。幸いにもお天気は晴れとなり、お餅つきの間に時折小雪がパラつく程度でしたので、より気合が入ってお正月前の良いお餅つきの気分となったようです。

今年も久保田宇部市長をはじめ、市関係者など、大勢のゲスト参加者があり、ビオトープ会員、隊員、二俣瀬子供会のメンバーを加えると100名以上の参加者に恵まれ、大変にぎやかな収穫祭となりました。

参加された方々には、あんこモチを含む搗き立てのお餅を10個づつ配りましたが、それでも十分に残ってしまうほどたくさんのお餅がつかれました。大変寒い一日でしたが、子供たちも元気にお餅をついたり、お餅を丸めたり、大忙しの日でした。

山口大学の留学生（十数名）たちも、お餅つきが初めての生徒もいて、とても有意義な一日だったと喜んで帰っていただきました。

最後に解隊式を行い、無事今年の行事を終了いたしました。今年は管隊長が思わぬ病気のため途中でリタイアし、十分な活動ができませんでしたし、隊員たちも学校行事で出席率が思わしくなく、少々物足りなさが残った年になりましたが、来年よりは新しい気持ちで、さらに有意義な活動を心掛けてゆきたいと思っています。今後ともビオトープ、観察隊を盛り立ててくださいますようお願い申し上げます。皆様、よいお年を！



最初の挨拶



台唐で餅つき



ついた餅を丸めます



参加者に餅を配ります

(感想文)

平成26年度の観察隊が無事終了いたしました。大きな事故もなく終えたことで一安心しています。ただ心残りだったことは隊長が6月末に不慮の病気にかかり、残り5か月間の行事に参加できなかったことでした。

健康にはじゅうぶんに注意を払い、食生活や運動もよく行い生活していたつもりですが、“大動脈解離”といって心臓より直接血液が送られる大動脈に大きな亀裂が入るという病気？に急に侵されてしまいました。会社に勤務していた時の健康診断でも全く悪いところも見つからず、毎月高い健康保険料を支払うのが悔しい思いをしていたようなことでした。病気の原因はわかりませんが、この病気にかかり命をなくす人も多いようで、私はとてもラッキーだったようです。

春までには体を整え、来年はこれまで以上に観察隊を有意義なものにしてゆきたいと思っています。そのためには隊員のみなさんの協力なしにはできません。せめて20家族くらいの隊員が集まればと思っています。

新規の隊員募集には力をいれますが、隊員の皆様のお知り合いやお友達がいらっしゃれば、ひと声かけていただくと助かります。学校行事の欠席はやむをえません、隊員数を増やすことにより安定した出席者が確保できると思います、なにとぞよろしくご協力ください。

隊長の知り合いにとっても昆虫の詳しい方がいらっしゃいます。その方をゲストにしますます楽しい昆虫教室を行ってみたいとも思っていますし、ビオトープを利用した有意義なイベントも考えたいと思っています。来年度の行事に“こうご期待”です。

親子自然観察隊に参加した親子の感想（今年1年間を振り返って）

★金子実侑さん

お餅つきはとても楽しかったです。またやりたいです。

1年間の行事でいろいろなことを知り、とてもいい経験になりました。来年も参加したいです。

★金子さんのお母さん

収穫祭はとても賑やかに行われ楽しかったです。

途中からお餅のバック詰めを手伝いました。次々と机の上に並べられた丸もち、子どもたちにも見せてあげたかったです。あんなにたくさんのお餅ができるなんて！次々と出来上がってくる丸餅を手際よく、一生懸命、そして楽しそうにひたすらバックに詰めていた学生さんたちの姿、こちら子どもたちに見せてあげたかったです。「やるときには一生懸命やる」そんな姿をお手本に、わが子にも成長してもらいたいなと思いました。

1年の行事を通して、様々な年代の方と関わらせていただけることで、子どもにとっても、私にとっても、勉強になることがたくさんありました。ありがとうございました。



★下川拓実くん

おもちがおいしかったです。今年は8月行けなかったけど、来年こそはすべて行って、皆勤賞を取りたいです。11月の里山のくらしで、わらで縄を作るのが難しかったです。またがんばろうと思います。

★下川航平くん

苗を植えるところが難しかった。草取りが大変だった。鎌で稲を刈るところが固かったけど、稲刈りは楽しかった。

★下川君のお母さん

二年目の参加で、昨年体験したことを子どもたちはきちんと取り組めるのかなと思っていましたが、おかげさまでとても楽しめたようです。高学年になり親子で過ごす時間が次第に減っていつの間にか、貴重な時間を過ごすことができました。今年も大変お世話になりました。ありがとうございました。

★戸成晃大くん

今までを思うと、今までの中で楽しく思い出のある一年間でした。野草がりは、サッカー一部の試合で、行けなかったけど、行けばものすごく楽しかったと思います。野鳥観察は今年買った新しい双眼鏡で見たので楽しく過ごしたと、実感しています。田植えでは、大学生と田植えの泥を投げあっていたのを今でも覚えています。その後は3週間休んだので、その事は行けば良かったと、思います。稲刈りでは、友達と遊ぶ約束があったので、急いでやって一番に一行出来ていたのを、思い出します。里山の暮らしでは、キイロ足長蜂に刺されて痛かったのを、覚えています。でもその後は、楽しかったです。餅つきでは、作るのより食べて怒られました。一年間、本当にありがとうございました。

★戸成君のお母さん

今年一年お世話になり、ありがとうございました。子供の学年が上がるにつれ参加回数が減ってきて、毎年どうしようとするのですが、温かく接して頂き本当に有難く思っています。子供と一緒に活動することとてもいいのですが、会の方と色々とお話しをしたりする事もとても楽しく、私自身も参加することを楽しみにしています。最後の行事の収穫祭ではこれがないと一年が終わらないというぐらい、待ち遠しく、親子共々楽しかったです。来年も参加したいと思っていますので、宜しくお願いします。ありがとうございました。

（餅つき）に参加した山大工学部学生の感想

① 国際交流サークル 憩

★田口良輔

今日の餅つき通じて留学生が日本の文化に触れて本当に良かったです。僕も楽しめてすごく良かったです。

★長瀬大暢

留学生に日本の伝統文化を伝えることができとても嬉しいです、留学生たちも楽しんで頂けたということで最高の一日でした。ありがとうございます。

★岩野大海

餅つきとても楽しくて、美味しかったです！！

また来年も楽しみにしています！

★畑野亜麻衣

お餅を作る作業、とても楽しかったです！スーパーのお餅よりも、ついたお餅の方が美味しかったです。

★井手口京平

脱穀につづいて餅つきまで体験させていただきありがとうございました。

つきたてのお餅とても美味しかったです。

② ホタゆに

★阿部真希子

雪がちらほら降っている中、たくさんの方々とおしゃべりをしながら楽しく活動していました。春に植えた小さな苗がすくすく育ち、あっという間に収穫祭。時が過ぎるのが早かったなとふと感じました。来年もよろしくお願いします。

★国貞寛規

今日の餅つきは田植え、脱穀など自分達でやり通してのものだったのでとても達成感があります。ありがとうございました。

★長谷川竣也

田植えから始まって今回の餅つきにも参加したが学生的身であってもこういった体験が出来るのはまず無い事で貴重でした。 お餅、美味しく食べさせていただきます。

★中村恵海香

収穫祭では、子ども会員だけではなく、保護者のかたやその他の会のかたなどのたくさんの人と協力できた、という印象が強いです。とても楽しく、美味しいお餅が作れて楽しかったです。ありがとうございました。

★生月千晶

臼と杵で餅をつくのを見たのは10年以上ぶりで非常に久しぶりだった。

昔ながらの体験ができ、貴重な経験となりました。

また、子どもたちや地域の方々と一緒に餅を丸めたりして楽しい時間を過ごせました。

ありがとうございました。また参加したいと思います。

6. ビオトープ関連：「山口県のトンボたち」 （管 哲郎 記）

(24) タイリクアキアカネ *Sympetrum depressiusculum* Selys

トンボ科 <アカネ属（アカトンボ属）> *Sympetrum* Newman

このトンボも外国からの飛来種で、朝鮮半島、中国北東部などより夏から晩秋にかけて北海道から沖縄まで主に日本海沿岸近くに飛来します。アキアカネを少し小型にしたようなトンボで、かわいい感じがしますが飛翔力が強く、捕獲は案外難しいのです。

筆者も長門市や下関市吉母近くの海岸で発見し写真に収めました。なかなか見つからず苦労しました。池の周辺や海岸近くの草地など、延々と探し続けねばならず、また昨年見つかった場所に今年もいるとは限らず、大陸からの飛来種ですからどこに降り立ってくるのか分からないのが探すのを困難にしている原因でもあります。

トンボ仲間が島根県益田市の海岸まで出かけ、採集してこられましたので、島根県まで行けば撮影も可能でしょうが、やはり、山口県で探したいと思っています。筆者の持っている本種の写真はわずかこれだけしかなく、全く不完全ですので、県内に毎年秋になると撮影に出かけていますが、今年の秋も出会えませんでした。探索は当分続きそうです。



晩秋の海岸近くの雑草地



タイリクアキアカネ♂



タイリクアキアカネ♀

7. 会よりの連絡事項

1) 年末懇親会は雨の為ハス堀がテスト堀（渡辺会員）しかできず残念でした。そのほかにも忘年宴会に入る前に水車の水漏れ工事や水路の泥上げも行うつもりでいましたが、すべて雨の為中止となりました。来年度の最初の活動日にはこの残務作業をいの一歩に行いたいと思います。蓮田と水路の乾燥は前もって準備しておきます。

2) この一年活動に参加いただきご苦労様でした。エコアップや駐車場の草刈りなど毎年困難と成っております。前田会員の度重なるエコアップや中電の草刈り応援などで何とか面目を保っていますが、いつか創設時b近い状態に戻したいとも思っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。 事務局 原田

8. 編集後記

会報161号と平成26年度の最後の発刊に思うことは、会報の投稿がマンネリ化して投稿者がほとんど固定化してきました。親子自然観察隊親子の活動後の投稿が何とか紙面を賑わしており、会報のバイタリティを保っているようです。平成27年度は、会員全員が「会員の声」を投稿していただきマンネリ化を防止していきたい。

この件については平成27年1月10日の初集会で活動方針の中で会報のあり方についても協議したいと思います。 編集局 原谷・ 事務局 原田